

連載

高槻市議会議員の高木さんが
マンガで世相を斬る!
わーわー 言うとります



8月8日から5日間、高槻生涯学習センターで「子どもたちと考える戦争と平和展」を開催しました。4回目となつた今年は延べ1500人の方

8月8日から5日間、高槻生涯学習センターで「子どもたちと考える戦争と平和展」を開催しました。4回目となつた今年は延べ1500人の方

8月8日から5日間、高槻生涯学習センターで「子どもたちと考える戦争と平和展」を開催しました。4回目となつた今年は延べ1500人の方

8月8日から5日間、高槻生涯学習センターで「子どもたちと考える戦争と平和展」を開催しました。4回目となつた今年は延べ1500人の方

8/8-12 戦争と平和展

戦争の記憶を
若い世代に
伝えていくために



「命に関わる」と連日報道されるほどの今年の暑さ。利用者の健康状態にはいつも以上に気に配りました。室内にいても脱水症状は起るかもしれませんので、身近にお茶のセットを置いていつでも飲めるようにしたり、また、お茶ばかり飲め飲めというより、梅昆布茶や塩あめを用意し、塩分も共に摂れるようにしま

した。利用者さんへも脱水症状についてお話ししたり、特に一

が来場しました。

沖縄の日本軍慰安所、戦時中のプロパガンダ雑誌、高槻市と島本町の戦跡などのパネルや実物展示に加え、原爆投下を漫画で描いた高校生たちの作品や沖縄のガマで遺品収集に携わる大学生による語り、戦死した夫を待つ老婆の物語「風」の演劇など、今年は若い世代の参加が顕著でした。大

阪空襲の生存者の証言集会も

開催しましたが、戦争の記憶を後世に伝えていくためにも重要な場となっています。

展示の最後は6月23日、沖縄の「慰靈の日」で、中学生の相良倫子さんが朗読した「生き

る」の詩を展示、当日の映像を流しました。相良さんの詩の印象的な箇所を紹介します。

だから、きっとわかるはずなんだ。

戦争の無意味さを。本当の

平和を。

頭じゃなくて、その心で、

戦力という愚かな力を持つことで、

得られる平和など、本当は無いことを。

開催初日に翁長雄志沖縄県知事が急逝されました。悲し

いことでしたら、期せずして、相良さんの詩が翁長さんを悼み、辺野古基地建設反対の遺志を引き継いでいるところを来場者に訴えることになつたと

思います。

(高槻市議会議員 高木隆太)

9月の
つぶやき
コラム

進む農家の高齢化、ひどくなる異常気象・鳥獣被害

今年の7月は大変でした。「記録的大雨」と言われた集中豪雨、「危険な暑さ」と報道されて毎日続く猛暑、今までの経験が通用しない「逆走台風」と、何もかもが異常です。これらによって、よつ葉の地場野菜に多大な影響がありました。トマトやかぼちゃの畠は水に浸かり全滅。いんげんは暑さでつるが傷んで枯れてしまつて花がつかず、なすびやピーマンなどは日焼けしました。また、強風で収穫真っ最中のきゅうりが倒されたりで、入荷は激減しました。

例年なら、この時期のよつ葉農産の集荷場は夏野菜であふれ、身動きがとれないほどなのに、今年はガラガラ。きゅうりやなすびはとくに1袋3本から5本入りになっていて、野菜大好きや野菜セットで目一杯出荷し、それでも捌けず各産直に引き売りをお願いしている時期なのに…。

思いおこせば、生産量が多くなって、作付けする量を減らしてお願いしていたのは2014年まで。その年を境に、明らかに農業生産の状況は変化しています。その中でも、農家の高齢化、離農は着実に進んでいます。「昔から知っている農家さんが心臓が悪くて入院された」「認知症で施設に入つてはる」とか聞くたびに寂しくなります。そして、年々ひどくなる異常気象と、鳥や獣の被害。ほんと深刻な問題です。

しかし、そんなことばかり言ってられない。待っていても野菜はこない。どうすれば? 何か行動に移さなければ…と、いつもと違う夏に少々焦り気味です。(よつ葉農産 笹川浩子)

第335号

福祉の現場

平城山デイハウスとつばの夏のひと工夫

▲ギター同好会によるコンサート

進む農家の高齢化、ひどくなる異常気象・鳥獣被害

今年の7月は大変でした。「記録的大雨」と言われた集中豪雨、「危険な暑さ」と報道されて毎日続く猛暑、今までの経験が通用しない「逆走台風」と、何もかもが異常です。これらによって、よつ葉の地場野菜に多大な影響がありました。トマトやかぼちゃの畠は水に浸かり全滅。いんげんは暑さでつるが傷んで枯れてしまつて花がつかず、なすびやピーマンなどは日焼けしました。また、強風で収穫真っ最中のきゅうりが倒されたりで、入荷は激減しました。

例年なら、この時期のよつ葉農産の集荷場は夏野菜であふれ、身動きがとれないほどなのに、今年はガラガラ。きゅうりやなすびはとくに1袋3本から5本入りになっていて、野菜大好きや野菜セットで目一杯出荷し、それでも捌けず各産直に引き売りをお願いしている時期なのに…。

思いおこせば、生産量が多くなって、作付けする量を減らしてお願いしていたのは2014年まで。その年を境に、明らかに農業生産の状況は変化しています。その中でも、農家の高齢化、離農は着実に進んでいます。「昔から知っている農家さんが心臓が悪くて入院された」「認知症で施設に入つてはる」とか聞くたびに寂しくなります。そして、年々ひどくなる異常気象と、鳥や獣の被害。ほんと深刻な問題です。

しかし、そんなことばかり言ってられない。待っていても野菜はこない。どうすれば? 何か行動に移さなければ…と、いつもと違う夏に少々焦り気味です。(よつ葉農産 笹川浩子)

Culture
&
Communication

封筒・伝票
から
パッケージ・美術印刷

株式会社国際印刷出版研究所

大阪市大正区三軒家東3-11-34
TEL 06-6551-6854 FAX 06-6551-1259

パートさん大募集!

こだわりをもって野菜を育てる人と
安全でおいしい野菜を食べたい人を
結ぶ仕事です。

株式会社よつ葉農産

亀岡市東別院町鎌倉中垣内2-1

電話0771-27-7500

まずはこちらまで御連絡下さい。



原発再稼働反対!!

原発も戦争もない未来を!

株式会社西産直センター

〒665-0815 兵庫県宝塚市山本丸橋2-109

TEL 0797-80-0831 FAX 0797-80-0832